

組踊イベント

普及公演 組踊鑑賞教室「しゅう しん かね いり執心鐘入」

初めての人もおすすめの組踊鑑賞教室。第1部では、人気実演家が組踊の鑑賞ポイントや魅力を観客の参加体験を交えながらわかりやすく紹介します。

- 公演日／10月16日(水)～19日(土)
- 開演時間／1日2回公演(午前10時30分、午後2時)
※19日(土)は午後2時のみ公演
- 観劇料／一般 2,100円、団体 1,600円、
高校生以下 1,000円

第1部 16・17・18日公演・・・組踊の楽しみ方
19日公演・・・組踊版・シンデレラ

第2部 執心鐘入

※19日(土)のみ、英語・中国語・韓国語・日本語オーディオガイドが利用できます。

民俗芸能公演

組踊「ふ し ちゅう しん父子忠臣」～竹富島仲筋村～

竹富島の「種子取祭」で毎年多彩に繰り上げられる芸能のなかから、仲筋村に伝わる組踊「父子忠臣」と、棒術や狂言「鬼捕り」をお届けします。島の香りあふれる芸能の数々をどうぞご堪能ください。

- 公演日／11月24日(日)
- 開演時間／午後2時
- 観劇料／3,200円

第9回 若手伝承者公演

国立劇場おきなわの組踊研修で学んだ修了生による、若手伝承者公演(既成者研修発表会)のお知らせです。

今回の若手伝承者公演の演目は、300年前に初めて上演されたとされている朝薫の五番の一つ「にどうきさう二童敵討」と、世話物の組踊「てい けい けい じん貞孝婦人」となっています。「貞孝婦人」は、これまであまり上演されていない演目です。この機会にぜひ、ご覧ください。

- 公演日／12月7日(土)
- 開演時間／午後2時
- 観劇料／2,100円 ※その他、学生割、団体割等があります。

第1部 二童敵討 **第2部** 貞孝婦人



国立劇場おきなわ
チケットカウンター
☎(871) 3350
窓口:午前10時～午後6時
電話:午前10時～午後5時30分
浦添市勢理客4-14-1

▼インターネットでもチケットを購入できます。
<https://www.nt-okinawa.or.jp>

※演目、出演者等は都合により変更の場合があります。また、定員に達し次第、チケット販売を終了しますのであらかじめご了承ください。



幅広い世代に 鑑賞してもらうために

組踊を気軽に楽しんでもらい、その魅力を次世代に伝えるために、親しみやすい組踊の入門編や新作組踊が多数上演されています。入門編の組踊版スイミーやシンデレラは、なじみ深い物語を題材に、組踊の約束事や鑑賞のポイントがわかりやすく説明されています。観客参加型のものや、踊りや衣装など現代風にアレンジされているものもあり、組踊をふれるきっかけにピッタリな作品となっています。



創作組踊「玉露の妖精」

身近に親しむ **組踊**

村まわり組踊

市では、沖縄が世界に誇る組踊や琉球舞踊をより身近に親しんでもらうことを目的として、浦添市文化芸術振興事業「村まわり組踊」を平成23年度から実施しています。浦添市文化協会組踊部会の皆さんが出演し、市内自治会で組踊を無料で鑑賞することができます。今年は12月14日に伊祖自治会で開催します。



浦西自治会での村まわり組踊

おでかけワークショップ

市では、国立劇場おきなわと連携し、沖縄の伝統芸能を身近に感じられるよう小・中学校を対象に「おでかけワークショップ」を開催しています。児童生徒にわかりやすく解説し、即興組踊の体験等もあり、終了後は「舞台上で組踊を鑑賞したい!」という声もありました。今年は7月に浦城小学校で実施、次回は沢砥小学校に出向きます。



組踊の約束事や表現方法を体験

未来へ受け継がれる組踊

300年つないできた組踊をこれから先も受け継いでいくために、さまざまな取り組みが行われています。



組踊版・スイミー

新たな担い手を 育てる

国立劇場おきなわでは、組踊の伝承者を養成するための組踊研修制度を、伝統組踊保存会の協力を得て平成17年から実施しています。

研修期間は3年間で、組踊の代表的な6演目(朝薫の五番と花売の縁)の習得を目指します。この組踊実技研修のほか、組踊の演者として必要な発声方法や身体作り、作法等も学びます。また、日頃の研修成果を広く公開する目的で、年2回の組踊研修生発表会を開催しています。



①合同稽古 ②5期生集合写真 ③身体訓練

INTERVIEW

伝統を守り、 新しい道を広げたい

琉球舞踊の師範、沖縄芝居の役者でもある祖母の影響で生まれたときから琉球芸能に親しんでいました。本格的に習い始めたのは小学3年生からで、踊ることがとにかく楽しかったです。組踊で初めてセリフのある役をもらったのは「女物狂」の童子役、唱えが独特で慣れるのが難しく、何度も練習を重ねました。

「古きを守り、新しい道をつくる」というのがモットーなので、まずは基礎をしっかりと、いろんなことにチャレンジしながら伝統を守っていきたいです。



「二童敵討」のリハーサルの様子

浦添工業高校2年
玉城流てだの会
翁長 俊輔 さん



期待の若手